てっぺんの葉っぱ

# 失敗から始まるスタートライン

4年　R・Hさん

もしも一度だけ願いがかなう「てっぺんの葉っぱ」をもらったら、みなさんは何をお願いしますか。

私は主人公のマチとは逆の性格で学校でも発表が好きだし、少し目立ちたがりのところがあります。だからこそ、この本を読んで考えさせられることがありました。

マチは大好きなユリアちゃんに「きらわれたくない」と思って、いつも自分の気持ちを言えずにモヤモヤしています。私はマチとは逆で自分の意見をどんどん言ってしまうタイプです。だからこそ失敗することがあります。みんなで決めるときに周りの人の意見を聞かずに、自分勝手に行動して相手にいやな思いをさせてしまったことがあり、後悔したからです。タイプは違っても友達関係で「失敗」や「悩み」「不安」は同じようにありました。

マチはユリアちゃんにつられてルールをやぶってしまい先生に怒られてしまいます。マチはまほうの葉っぱで時間をまき戻したいとはげしく悩みますが過去に戻るのではなく、今の生活の中でどうすればいいかを一生けん命に考えました。

本のあと書きにあった「失敗しても悩んで考え続けることが大事」という言葉が私の心に深く残りました。私は今まで失敗するとただ落ち込んでばかりでした。ですがマチのように悩んで考えることが自分を大きく成長させてくれるということが分かりました。

発表することや目立つことは、私の良い所だと思います。でも自分の意見を言うだけでなくマチのように「相手のことを一生けん命に考える優しさ」も必要です。私のポケットにまほうの葉っぱはありません。だから失敗したことを消すことはできません。けれどマチのように悩んで自分のやり方を見つめ直したとき、失敗はただの終わりではなくなります。この本で学んだことをこれからの学校生活に活かしていきたいです。ただ目立つだけでなく、周りのみんなの気持ちを大切にしながら一歩をふみだす。

これこそが失敗から始まる私の新たなスタートラインです。